

掲載日：令和6年3月12日  
沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課

第9回 国頭トレイルランニング大会にて虫媒介感染症予防の啓発活動を実施  
(沖縄県とアース製薬の包括連携協定に基づく取組)

マダニが媒介する感染症である重症熱性血小板減少症候群（SFTS）が、全国では過去最多の発生件数となっており、県内でもこれまでに重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、日本紅斑熱などの事例が報告されていることから、大会の安全安心な運営のため、国頭トレイルランニングの会場に「虫ケアステーション」を設置しました。

約 1500 名が参加した当大会のスタート地点にて、参加者への虫よけ剤の塗布や、虫媒介感染症の予防についてパネル展示等で啓発する活動を行いました。

この取組は、沖縄県とアース製薬株式会社の包括連携協定の一環として実施されたものです。

\* 虫ケアステーションとは

虫媒介感染症のリスクを紹介し、虫よけ剤の正しい使い方を提案するためのアース製薬オリジナルのブース。当ブースでは、「サラテクト」を実際に用いながら虫よけ剤の正しい使い方を伝え、蚊・マダニやヤマビル等の害虫や被害症例も展示することで虫ケア啓発を行う



# 虫ケアステーションとは

虫媒介感染症のリスクを紹介し、虫よけ剤の正しい使い方を提案するためのアース製薬オリジナルのブース。当ブースでは、「サラテクト」を実際に用いながら虫よけ剤の正しい使い方を伝え、蚊・マダニ・ヤマビル等の害虫や被害症例も展示することで虫ケア啓発を行う。

## 【実施 イメージ】



## 【展示パネル】

人間の命を奪う生き物は、  
圧倒的に「蚊」です。

生き物	年間死亡者数
蚊	830,000人
ヘビ	60,000人
犬	17,400人
サシガメ	8,000人
サンリ	3,500人
回虫	2,700人
ウニ	1,000人
カバ	500人
ライオン	100人
ハチ	60人
サメ	6人

生き物による年間死亡者数

病原体を保有する蚊に刺されると、感染症にかかる恐れがあります。  
マラリア、デング熱、ジカ熱、また日本脳炎なども蚊が媒介する感染症です。

アース製薬株式会社

### マダニ

体長 5~7mm 程度

#### 生息場所

野生動物が出没する場所に多く生息。民家の裏山、庭、畑などにも生息。

#### 特徴

まれにウイルスや病原体を持つマダニにさされると、「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」、「日本紅斑熱」、「ライム病」、「回帰熱」を発症するリスクがある。